



旭中通信

練馬区立旭丘中学校
学校通信 6月号
令和元年6月3日発行

今 このときに情熱を！

校長 渡邊 重幸



当日（25日）はすばらしい晴天の下、令和元年度の運動会を実施することができました。とはいえ、日本付近には大陸から季節先取りの暖かい空気が流れ込み、高気圧に覆われ、全国的に真夏並みとなりました。北海道では5月としては過去になく、8月の平均気温を上回る陽気に、エアコンの注文が殺到するほどでした。

暑さに慣れていない時季に急激に気温が上昇すると熱中症を発生しやすいため、本校でも、運動会の実施時間短縮やプログラムの変更、休憩時間を取り教室で涼ませる等、暑さ対策を十分考慮に入れ実施しました。当日は、PTA種目のみ取りやめ、あとは予定通り実施することができました。教員は生徒の様子を観察し、生徒のみならず保護者や地域の皆様にもこまめに水分補給するよう、何度もアナウンスをして安全管理を徹底しました。おかげさまで、体調の悪い生徒はいましたが、熱中症になった生徒はいませんでした。

私は、開会式のあいさつで、運動会に関わる3つの側面について生徒に話しました。「競技に参加する。」「選手を応援する。」「委員会・各係として運営を支える。」、いわゆる「する」「観る」「支える」のそれぞれの場面で、運動会を存分に楽しんでほしいこと。また特に3年生は中学校生活最後の運動会であり、ともに過ごした仲間ととともに楽しみ、よき思い出をつくってほしいということです。さらに、ご来賓の皆様、保護者・地域の皆様に対しては、旭丘中の子供たちが一丸となり、情熱を燃やす姿に、大きな声援を送ってくださるようお願いしました。

旭丘中の生徒は、今年度のスローガン「今 このときに情熱を！」のとおり、みごとに一人一人が力を発揮しました。女子1000m、男子1500mは全員が完走しました。50mハードルでは、転倒した生徒も、すぐに立ち上がり最後まで走り続けました。100m走も途中であきらめず、最後まで力を抜かずにゴールを目指していました。団体種目の全員リレー（全）、竹取物語（1年全・D組全）、矢切りの渡し（1年全）、台風の目（2年全）、大縄跳び（2年全）、むかで（3年女）、大むかで（3年男）では、どの学年・クラスも作戦を考え、チームワークよく競い合っていました。特に3年男子の『大むかで』の場面では、3年生の女子が一生懸命応援している姿に感動しました。

さらに生徒達は、積極的に係の仕事を果たしていました。私は昨年まで小学校にいましたが、小学校の運動会の運営は、高学年が手伝うものの、先生方が主で行っています。しかし、本校の生徒は、走り終わって疲れているはずなのに、笑顔で用具の準備をしたり、アナウンスをしたりしていました。来賓の方からも「校長先生、閉会式で話す（褒める）ことがいっぱいあっていいですね。」と言われ、改めて旭丘中学校の素晴らしさを味わうことができました。「ありがとう！」

* * * * *

子供たちの頑張る姿をご覧いただくために、朝早くからご来校いただいたご来賓の皆様、保護者・地域の皆様、ご声援ありがとうございました。

また、自転車整理や警備、来賓接待、片付け等にご協力いただいたPTAの皆様、旭丘中学校卒業生の皆さん、ありがとうございました。

<準備体操>



<1000m走・1500m走>



<50mハードル> <竹取物語>



<全員リレー>



<台風の日>



<サスケ>



<矢切りの渡し>



<追いかっこ綱引き>



<全員リレー>



<大縄跳び>



<むかで>



<大むかで>



<代表リレー>

